

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	郷土を代表する水彩画家丸山晚霞のアトリエ・「羽衣荘」の整備事業
事業主体 (連絡先)	ひと・いきもの・暮らし研究所 東御市常田681-1
事業区分	(5) 環境保全・景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	452,260 円 (うち支援金: 324,000 円)

### 事業内容

- ①「羽衣荘」の整備  
庭内やアプローチの整備(草取り、樹木の剪定など)を行った。
- ②晚霞の愛した植物の植栽  
シャクナゲなど高山植物などの植栽を行った。
- ③ワークショップの開催  
地元の方も交えて「現状の羽衣荘の現状と課題」について話し合い、今後の方向性を確認することができた。



【作業が終わって】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①草木の伐採・剪定を行うことができた。その廃棄物として、竹や木々などの廃材は、500kgは越えた。
- ②シャクナゲ5株とともに、花の種類で7種各70株の花苗を定植することができた。
- ③これまで丸山晚霞のアトリエのあった羽衣荘を訪れる人はなかったが、整備もあってか、訪問者が散見され、地元の祢津小学校も見学を行った。

### 【目標・ねらい】

- ①庭の整備
- ②草花の植栽と手入れ
- ③記念館本体と連動した見学者の増加

※自己評価【 B 】

### 【理由】

想像していたよりも整備が進まなかった。  
こちらの発信力のせいか、地元を含めた広がりが弱かった

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ①さらに残された剪定・伐採を行ない、また植栽も行う。
- ②藤村碑の保存の方法を検討する。
- ③庭の活用方法を具体化する。
- ④恒常的な管理運営の方法を模索し、庭や建物含めた敷地内全体についても検討する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある